

第 11 号議案

県連提出議題（代議員）

I 発表会・競技会

1 （ 全国大会にて配布されている資料のコンパクト化 ）について

埼玉県連盟 氏名：関本 日向葵

（提案内容とその理由）

大会資料や協賛して下さっているところの資料が多く、持ち運ぶ際に重く、また移動距離が長いので持ったままの移動は大変不便である。ホームページの URL や大会資料を QR コードにして、手荷物が増えないような工夫をしてほしい。

2 （ 家畜審査競技会 ）について

埼玉県連盟 氏名：関本 日向葵

（提案内容とその理由）

公開競技ではなく、毎大会で実施してほしい。

開催時には「乳牛の部」・「肉牛の部」・「豚の部」を実施してほしい。

3 （ 平板測量競技会 ）について

熊本県連盟 氏名：福田 明純

（提案内容とその理由）

実際の現場では、平板測量を使用されていないため、新しい測量技術（トータルステーションやドローンを使ったものなど）による競技会を模索してもらいたい。

II 農業クラブ活動

1 （ 農業高校間の交流学習実施 ）について

熊本県連盟 氏名：福田 明純

（提案内容とその理由）

自校では体験できない魅力ある実習や授業が他校では展開されていると聴いています。高校三年間という限られた時間内で一つでも多くの農業に関する体験や授業を交流学習をとおして学べたらと考え、提案しました。

III その他

1 （ 農業クラブ SNS の立ち上げ ）について

大分県連盟 氏名：岡本 孝志朗

（提案内容とその理由）

現状として、農業クラブ員は、農業クラブがどのような組織で、県内にどのくらいの生徒が在籍し、どのような活動をしているかを把握できていない生徒が多くいると思われる。

必要なことは、クラブ員である生徒自身が、しっかりと農業クラブを理解することも重要であるが、どのような活動がどの学校で実施されているか等、活躍している姿を知ることである。

対策としてクラブ員専用のコミュニティとしての「各県学校農業クラブ SNS」を開設してはどうか。課題は開設した場合、どこが中心となって管理するか、投稿ルールなど細かく決める必要がある。

2 （ 進路先に対する「農業クラブ」の認知度 ）について

大分県連盟 氏名：岡本 孝志朗

（提案内容とその理由）

高校に入学するまで農業クラブという活動や組織があることを知らなかったが、世間的にはどの程度認知度があるのか知りたい。特に、進路希望先で「農業クラブ活動で最優秀になった。」と面接などでいう場合、部活動などと同じような扱いになるのか、それ以上・以下なのか、そもそも進路の選抜に影響が出るのか知りたい。また、進路先が農業系以外の場合、農業クラブとして広めていく方法があるのか検討すべきと考えるため。